

子ども・子育て会議「ライフデザイン」ワーキング部会報告書

- 1 **開催日** 第1回 8月31日(水) 第2回 9月28日(水)
- 2 **会場** ながおか市民防災センター 2階研修室
- 3 **出席者** 長岡助産師会、NPO法人、専門学校職員、大学生、子ども・子育て会議委員、長岡市関係課(商業振興課、男女共同参画推進室、子ども家庭課) 13名

4 ワーキング結果

【第1回】

テーマ「ライフデザインを描くために必要な情報について」

冊子による情報提供として、どんな情報が必要か、どの世代、どの機会に発信したらよいか

(1) 必要な情報について

- ライフデザインとは何か(なぜ大切なのか)
- 正しい知識
 - ・男女の体に関する事
 - ・性に関する事
 - ・妊娠・出産に関する事
 - ・子育てに関する事(子育て支援に関する情報も含め)
 - ・生活に必要なお金について
- 多様な生き方に関する情報
 - ・結婚・出産・子育て・仕事について
 - ・ワークライフバランスについて
 - ・子育てについて(働きながらの子育て・専業主婦(主夫))
 - ・パートナーとのコミュニケーション
 - ・人生の選択は自由である事

(2) 情報発信について

- 成人までの若者に発信するとよい(高校・大学・成人式)
- 情報は当事者の生の声を反映させたものがよい
- 写真や絵、図などを多く盛り込み見やすいものがない

【第2回】

テーマ「ライフデザインを描くために必要な情報の提供や意識啓発について」

情報の提供や意識啓発の取り組みの検討（いつ・どこで・誰に・何を）

【社会人】

- ・新社会人や若手に向けた研修やイベントの中で、結婚や妊娠・出産、ワークライフバランスについてのアプローチを取り入れる。

【大学生】

- ・学生に向けた特別授業として、ライフデザインをテーマにした講座を実施。

【高校生】

- ・自分の将来（就職、結婚等）と向き合うためのワークショップを実施する。

【中学生】

- ・職場体験や小さい子どもに触れる機会、夫婦を迎えての座談会など、体験型の学びの場を増やす。
- ・実際に自分の人生について考え、ライフデザインをたてるワークショップを実施する。